

- ◇就学奨励金の申請受付……………2面
- ◇所得税・市県民税の申告……………3面
- ◇太陽光発電への補助金申請を受付……………4面
- ◇食品の放射性物質の検査始める……………4面
- ◇公民館特集……………5面
- ◇宮水ジュニアまつりを開催……………8面

●発行(毎月10・25日) / 西宮市役所: 〒662-8567 六湛寺町10-3 ☎0798・35・3151(代表) ●ホームページ <http://www.nishi.or.jp/>  
 ●編集/総合企画局市長室広報課 ☎0798・35・3400 ✉vo\_kouhou@nishi.or.jp ●携帯サイト「ふるむ西宮」<http://www.nishi.or.jp/i/>



## 防災意識

Q 東日本大震災発生前後の防災意識の変化について、あてはまるものを選んでください。



より「早く」より「遠く」より「高く」避難を!

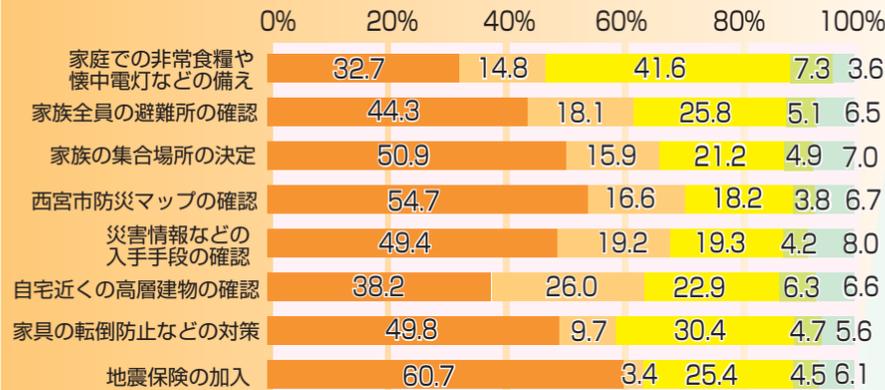
一方、「地震保険」について、震災以前も以降も加入していない人が約6割となっています。

また、「家庭での非常食糧や懐中電灯などの備え」は、「震災以降に実施するようになった」が14・8%で、震災以前から実施していた人と合わせると約6割を超え、最も意識が高いことが分かりました。

震災前後で最も意識が変化したのは、「自宅近くの高層建物の確認」で26%となっています。

A 高層建物への意識 震災を受けて高まる

## 防災意識の変化



- 東日本大震災以前も以降も実施していない
- 東日本大震災以前は実施していなかったが、以降実施するようになった
- 東日本大震災以前も実施しており、以降も同様に実施している
- 東日本大震災以前から実施しており、以降さらに充実させた
- 無回答

## 意識調査結果まとまる

# 市民の思いと 共に歩む行政

市は、毎年「市民意識調査」を実施しています。市が行政課題を解決するために、どのような施策が必要なのか。市民の皆さんの考えを知るこの調査はその基礎資料となるものです。

報告書は2月下旬から市立図書館などで閲覧できるほか、市のホームページ(市政情報→広報・広聴)にも掲載します。問合せは市民相談課(0798・35・3100)へ。

※グラフ数値は四捨五入しているため100%にならない場合があります

## 環境対策

Q 環境対策として実践している、または実践したいと考えているものについて、あてはまるものを選んでください。



クリーン大作戦でまちをきれいに

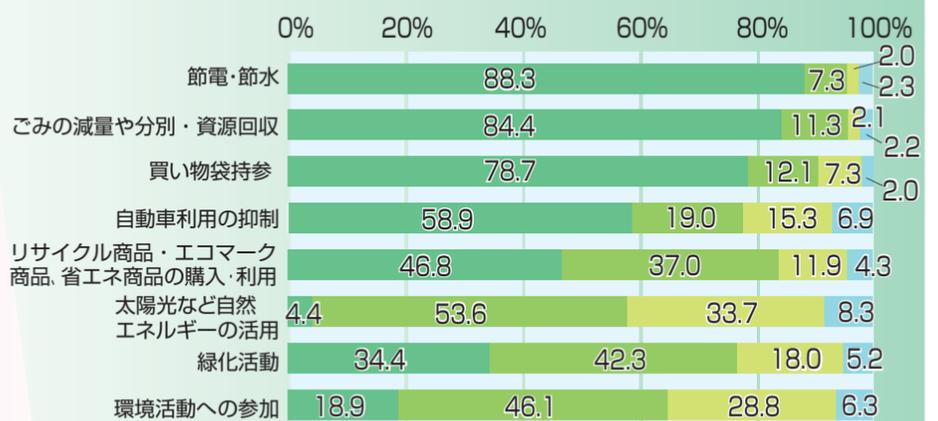
また、「これから実践したい」ものでは、「太陽光など自然エネルギーの活用」、「環境活動への参加」が約5割を占める一方、これらを実践したいと思わない人も約3割あり、意見が分かれました。

また、「これから実践したい」ものでは、「太陽光など自然エネルギーの活用」、「環境活動への参加」が約5割を占める一方、これらを実践したいと思わない人も約3割あり、意見が分かれました。

環境対策として、「節電・節水」、「ごみの減量や分別・資源回収」、「買い物袋持参」を約8割〜9割の人が実践しており、市民の皆さんの環境に対する意識の高さが分かりました。

A 節電・節水、ごみ減量 約8割〜9割が実践

## 環境対策の実践



■ すでに実践している ■ これから実践したい ■ 実践したいと思わない □ 無回答

## 協働事業

Q あなたは、「協働事業提案制度」で何か提案したいと思いませんか。あてはまるものを選んでください。



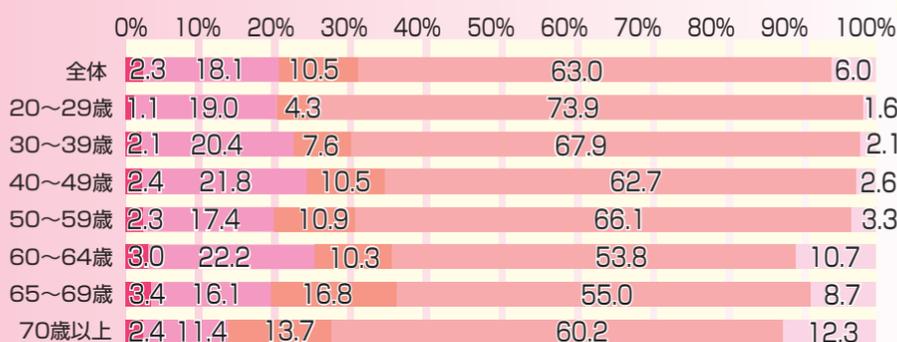
同提案で採択された「プレーパーク」。子どもの遊び場を提供しています

約3割「内容が難しい」が約2割という結果になりました。

しかし、「知らないし、提案したいとは思わない」が最も高く63%でした。同制度に消極的な意見の理由として、「興味がない」が約3割、「内容が難しい」が約2割という結果になりました。

A 提案してみたい等 積極的意見が2割

## 協働事業提案制度の認知度、利用希望度



- 提案したいと思う
- 知らないし、提案したいとは思わない
- 知らなかったが、提案してみたい
- 無回答
- 知っているが、提案したいとは思わない

## 河野市長からのメッセージ 市政運営の大切な資料に



今年度の市民意識調査は、「東日本大震災による防災意識の変化」、「環境対策の実践」、「参画と協働」など6つのテーマについて調査させていただきました。

今回の調査で、東日本大震災の後、市民の皆さんの防災意識や節電などへの意識が高まっていることが分かりました。今後も市は、津波避難ビルの指定などの事業を推進するとともに、防災や環境問題などについて、意識向上に向けた啓発を進めていきます。市民の皆さんがさまざまな課題に対し、どのようなことを望み、どのように取り組んでいるのかを知ることが、市政運営の基盤となるものです。これからも市民の声を生かしたまちづくりを進めていきますので、皆さんのご理解とご協力をよろしくお願いいたします。